

平成29年度 事業報告

高齢社会が進む中、団塊の世代がすべて労働市場から引退し、労働力人口の減少による地域経済社会の沈滞が懸念された年度でした。

団塊の世代が引退した後も就労等を通じて地域社会での「居場所」と「出番」を得られ、自身の経験を活かして地域社会の「担い手」となるべく、健康で生涯を送ることができるように、厚生労働省の「厚生労働白書」では、シルバー人材センターの活動を「ボランティア」ではなく、地域社会に貢献し、且つ地域経済の活性化にも寄与できるように、今後は「ビジネス」と位置付けるとの方針が発表されました。

こうした中、当センターでは、会員が「自主・自立」「共働・共助」の下、「健康で安心して働くことにより生きがいを感じる」ことを目標に、地域から信頼される組織を目指して、各種事業に取り組みました。

高齢者支援事業としての「福祉・家事援助サービス」、「介護予防・日常生活支援総合事業」も2年目に入り、ますます家事支援の必要性が求められました。生活に不安や、不便を抱えている高齢世帯の増加は、今後も必須であり、支えの手を差し出す地域支援こそ喫緊の課題であり、シルバー人材センターとして地域支援にまさに“いま”であると強く確信した年度でした。

その一方で当センタのみならず、全国的に会員の減少が進み、目標100万人との乖離は大きくなっており、昨今の状況では、直ちに拡大とはいきませんがセンターが発展していくためには会員の拡大は絶対的な要件です。平成30年度から新しい会員増強計画にもとづき会員増加の達成を図るべく努力を続けたいと思います。

事業実績(受託事業+派遣事業)は、「契約件数」4,107件で前年比123件減、「契約金額」は前年比938万円減の3億1,089万円となりました。

期末増減残高は組織活動費、消耗品等の事務経費見直しの結果、約295万円のプラスとなりました。

一方、シルバー事業の運営にあたって「安全就業」は、何よりも最優先されます。今年度も安全適正就業委員会を中心に就業現場の安全パトロールを行い、事故防止の徹底と安全意識の高揚を図りましたが、昨年同様12件の事故が発生しました。

常日頃から会員自身が安全に対する意識の向上と認識を高めるよう尚一層の取り組みが求められます。

以下、29年度事業の状況を報告します。

1 会員の状況について

平成29年3月31日	会員数	592名
平成30年3月31日	会員数	557名
新規入会者数	50名	退会者 85名

会員数は、改正高年齢者雇用安定法が定着し、新規入会年齢の高齢化と高齢会員の自然退会もあって、前年度に比べ35人減少し557名となりました。

2 普及啓発活動

普及活動としては、市内全戸に配布される広報に有料広告を出し、シルバー人材センターを広く市民に知っていただき、より一層の協力を得るための普及啓発に努めました。このほか公共施設などにシルバーの講習会、会員募集パンフレットの設置やHPでPRを行ったほか、福祉イベントへの参加を通してお客様のシルバーに対するアンケート調査や会員の入会促進を図りました。

その結果、111件の回答があり、仕事に対する満足度では、「満足」と回答された方は79件で回答者の71.2%から良い評価を頂きました。

また、毎月第1木曜日に開催する入会説明会においては、三豊市の広域性を考慮して山本町と高瀬町の2か所で説明会を開催しました。その他「一会員一人新規紹介運動」などの新たな取り組みを行い、少しではありますが効果がでてきたように思います。

3 安全就業の推進

安全就業対策の推進及び指導強化

安全就業推進計画に基づき、重篤事故ゼロの維持と傷害事故の対前年度比20%削減と賠償事故の対前年度比50%削減を目指し、安全適正就業委員による12回の安全就業パトロールを行い、就業現場に於ける安全チェックと安全指導の強化に努めました。また、新規受注業務については、引き続き担当職員が受注先に出向き、仕事の内容や作業環境を確認した上で就業提供するなど、会員の安全就業に努めました。

平成29年度は傷害事故6件、賠償事故2件（50%）、そして交通事故が4件も発生しましたので12月に緊急に交通安全研修会を開催し、新交通法規の確認と危機感を養うべく実際の事故例を検証し、認識を新たにしました。

4 適正就業について

センターにおいては、公平な就業機会を提供するためローテーション就業や「臨・短・軽」の原則を守るべく複数人に仕事を分かち合うワークシェアリング就労の協力をお願いしております。また、シルバー適正就業ガイドラインを配布するとともに、就業内容の再確認を行い、請負契約にそぐわない就業については、お客様に派遣契約への切り替えをお願いしておりますが、それでも「臨時・短期・軽易」の基本条件で折り合いがつかない場合は会員さんを直雇いにしていただくか、残念ですが契約をお断りしております。

5 事業実績

平成29年度における三豊市シルバー人材センターの事業実績は、次のとおりです。

1. 事業内容別

区 分	請負・委任	派 遣	計	昨年比
会 員 数(人)	557	<22>	557 (592)	-35人
受注件数(件)	4088	19	4107 (4230)	-123件
契約金額(千円)	290,527 (294,169)	20,357 (26,101)	310,885 (320,270)	-938万5千円 97.1%
就業延人(人日)	60,209	4,887	65,096 (68,250)	3,154人日
就業実人員(人)	445	28	473 (485)	-12人
就 業 率 (%)	79.9		84.9(81.9)	+3%

() 内は前年度の実績

会員数は35人(5.9%)の減、受託件数は123件の減、契約金額は938万5千円(2.9%)の減で、内訳は公共事業で145万円(1.7%)の減、民間事業では174万円(1.4%)の増でしたが派遣事業で適正就業の観点から契約打切り等があり574万円(2.2%)の減少が大きく響いております。配分金は2億3803万円で125万円(0.5%)の減で、就業実人員は12人(2.5%)の減となり、就業率は84.9%で3ポイントの増となりました。

2. 会員の状況

(1) 正会員数(入・退会状況)

(単位：人)

	平成28年度末	入会者	退会者	平成29年度末
男性	377	28	58	347
女性	215	22	27	210
計	592	50	85	557

(2) 会員の男女別年齢構成

(単位：人)

摘要 性別	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80歳 以上	計
男性	21	120	108	66	32	347
女性	20	53	79	41	17	210
計	41	173	187	107	49	557